

平成 31 年 2 月 7 日

尼崎市立立花北小学校
学力向上推進委員会

平成 30 年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

立春の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育推進のため、ご理解ご協力いただきありがとうございます。

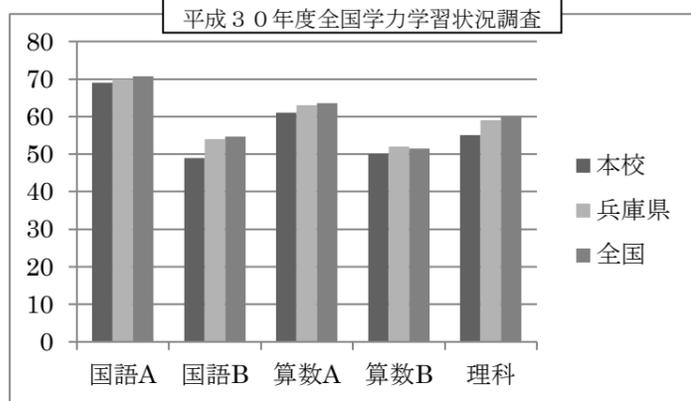
さて、4月に実施しました、文部科学省による学力・学習状況調査の結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上についての対応策をまとめました。その概要についてお知らせします。

なお、この調査は小学校6年生と限られた学年が対象であり、教科は国語、算数、理科に限られています。さらに、出題は限られた分野の問題です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧下さい。



■調査結果（平均正答率）及び考察

1. 全体

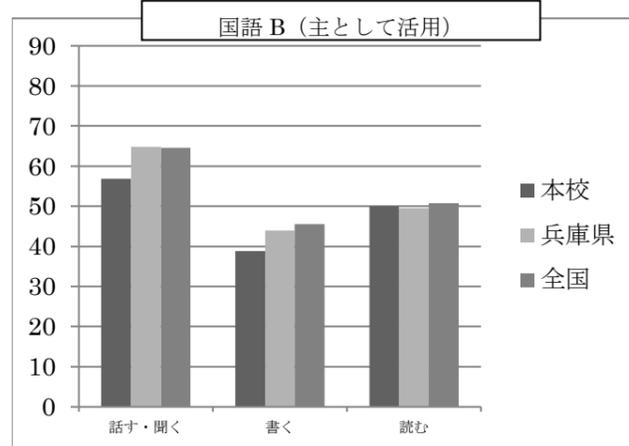
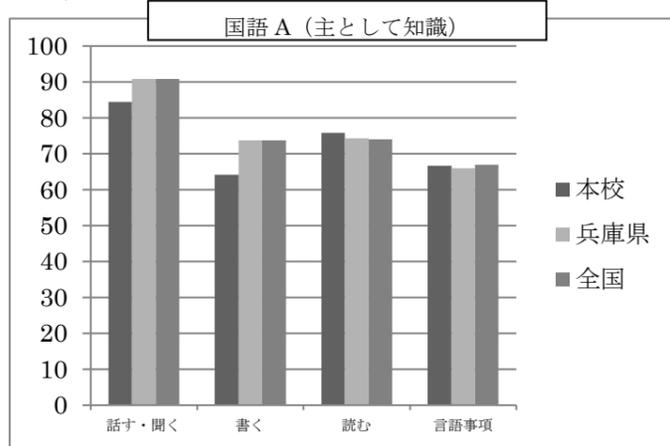


問題 A…身につけておかなければあとの学年等の学習内容に影響を及ぼす内容、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など。

問題 B…知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力など。

3本ずつあるグラフは、いずれも左から「本校」「兵庫県」「全国」を表しています。

2. 国語



(1) 結果

国語 A、国語 B ともに「話す・聞く」「書く」に苦手意識をもっているが、「読む…情景描写」「言語事項…慣用語、敬語」については全国を上回る結果が得られ、昨年度よりも上がっている。これは、各学年が授業の中

で、丁寧な読み取り（文章の中から分かることを読み取ること）を続けてきたことや、レッツスタディや宿題で読解問題や言葉の問題に意識的に取り組んできた成果ではないかと考えられる。

(2) 課題

- 後半になるに従い、無回答率が高い傾向にある。読むスピード、理解し表現するスピード、集中力の継続時間に課題がある。
- 同音で似た漢字「管」「官」「菅」や「積」「責」「績」等、具体的なイメージを持ちにくい漢字を覚えることに苦手意識がある。
- 話し合いの場面において、「参加者として質問の意図を捉える」「司会者の役割」「自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」に苦手意識がある。
- 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えることに苦手意識がある。

(3) 今後の取り組み

- 昨年に引き続き、朝の読書や図書室の活用に力を入れ、本に親しむ習慣を身につけさせていきます。読書の内容についても、なるべく読み物にふれさせ、活字に慣れるようにし、早く読む、早くと確に内容をつかむといった「読むスキル」を身につけさせていきます。
- 漢字は教科書でひと通り学習した後は、形がよく似ている文字や同音異義語など一つのグループとして関連付けて覚える等、復習する機会を設け、応用力をつけていきたいと思ひます。また、新出漢字の学習の取り組みせ方や既習の漢字の定着の方法について検討していきたいと思ひます。
- 物語や説明文など、考えを効果的に伝えるための工夫を見つけたり、文章の構成について考えたりする授業やプリント学習を実施していきたいと思ひます。
- 話し手の意図や質問の意図を捉えながら聞き、自分の考えを発信する場を授業の中に多く取り入れていきます。また「話し合いの単元」の指導時間をしっかりと確保し、司会者を立てた話し合い活動も取り入れ、聞かれていることに対して正しく答えることや自分の考えを筋道を立てて話すことができるようにしていきます。
- 読み取ったことや考えを交流する中で、自分と友達との考えの共通点や違いなどに気づき、自分の考えを深められるようにしていきます。また、ペアトークやグループ学習などを通して、話し

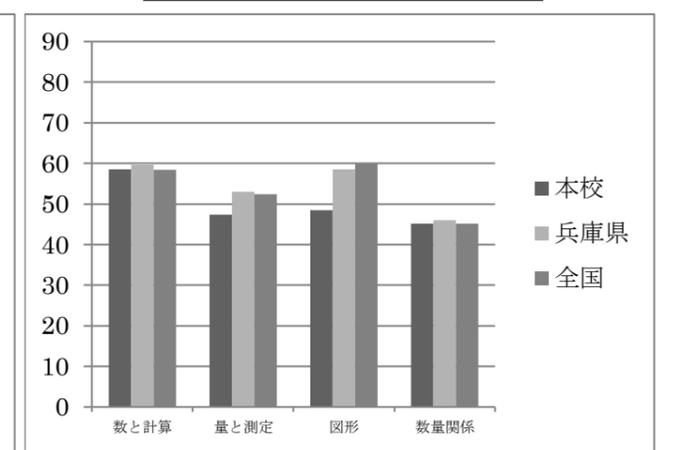
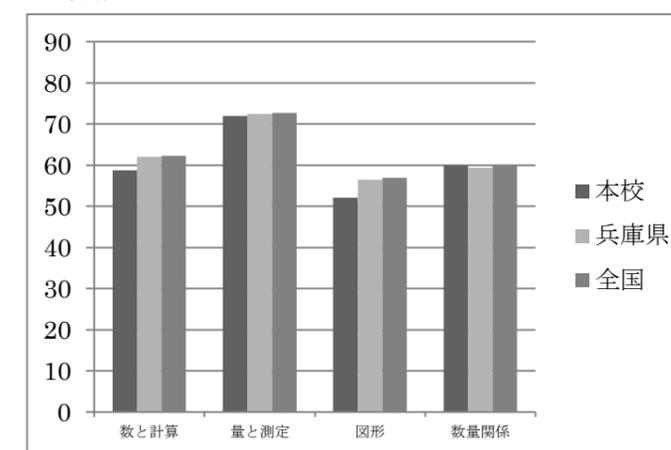
合

いの楽しさを感じられるようにしていきたいと思ひます。

- 授業や宿題などを通して、文章の中の大切な言葉（キーワード）を見つけたり、それを使って文章の内容や要旨を限られた文字数の中でまとめたりするような活動を取り入れるようにしていきます。



3. 算数



(1) 結果

算数 A、算数 B ともに昨年度から約 10 ポイント向上し、県・全国と 2 ポイント差となっている。算数においても、自主学習で各自が苦手な問題や発展的な問題に取り組んだことや、各学年の教師がレッツスタディや放課後学習を通して算数に苦手意識がある子ども達への支援を続けてきた成果ではないかと考えられる。しかし、観点別に見てみると「図形」に苦手意識がある。選択式の問題は全国平均を上回っていたが、短答式や記述式の問題では逆に全国平均を下回っている。今年度のレッツスタディから、基礎基本の定着を図る「ベーシックコース」と応用問題に挑戦する「チャレンジコース」を新たに設定している。昨年度より実施回数も増えており、来年度の結果に期待している。

(2) 課題

- 問題における数量関係を理解し、数直線上に表すことに課題がある。
- 小数の割り算（小数点の移動）の計算ミスが目立つ。
- 分度器を用いて、180度よりも大きな角を求めることに苦手意識がある。
- 図形の名称や公式、求め方は理解できていても、問題文で問われていることを捉える力に課題がある。また、どのようにして公式が導き出されたのかを説明する力に課題がある。
- 既習事項を活用して条件を変更した問題を解くことやその理由等を記述して説明することに苦手意識がある。
- 百分率を求める問題（200人のうち80人が小学生の時、小学生の人数は全体の人数の何%か）に苦手意識がある。

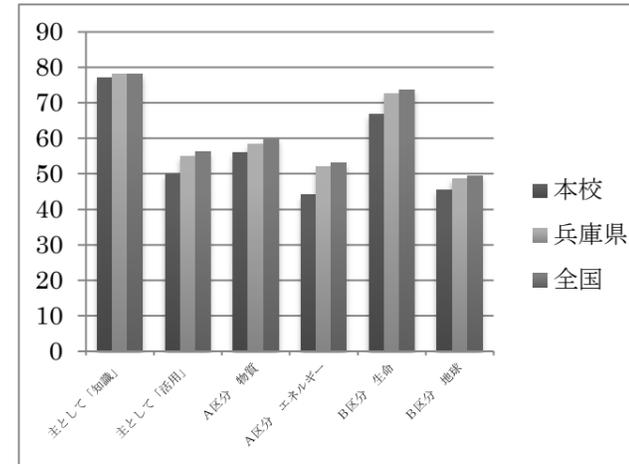


(3) 今後の取り組み

- 計算問題では小数や分数の問題、加減乗除の混合問題に多く取り組ませ、正しい順序で間違いなく計算できる力をつけさせていきます。
- 図形の問題では、公式を覚えるだけでなく、なぜそのような公式になるのかをしっかりと考えさせていきたいです。また、1つの図形の面積や体積を求めるだけでなく、様々な要素を含んだ少し複雑な問題にも取り組んでいきます。
- 課題解決の場面では、なぜそのような式や答えになったのかを、数直線や図、絵を用いて、筋道を立てて説明する機会を多く設けることで知識・理解を定着させると共に、多様な考え方にも触れられるようにしていきます。
- 学習活動を通して見出した考え方を活用して、数値や形などの条件を変更した応用的な問題にも取り組んでいきます。
- 何%増量や何割引きなど、教科書の問題をできるだけ日常生活に関連付け、活用する力をつけさせていきます。
- めあてやふり返りを大切に授業を継続し、子どもが更に主体的に学習していけるよう授業改善に努めます。



4. 理科



(1) 結果

知識は県・全国レベルにあるが、それを活用する部分が弱く、エネルギーと生命の区分では全国平均を大きく下回っている。

(2) 課題

- 知識はあるが、それを活用して解答することに課題がある。
- 記述問題になると無回答率が高く、自分の考えを書くことに苦手意識がある。
- 名称を漢字で答えている児童が少ない。

(3) 今後の取り組み

- 実験の結果から知識を得ることにとどまるのではなく、実験結果から得た知識を利用した問題にチャレンジしたり、長期休み等を利用し、家庭学習の中でさらなる発展的な実験に取り組んだりすることを進めるなど、知識を活用する機会を多く設けていきたいと思えます。
- 実験の結果から、自分で考察する習慣をつけていきます。授業の中で出た大切なキーワードを提示し、文章は自分で考えさせるなど、自分の言葉で書くことができるように、時間を設けて取り組ませます。
- 毎時間、授業の最後に「今日の学び（まとめ・振り返り）」を書くなど、学習のさらなる定着を図っていきたく思います。

5. 生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査より

〈生活習慣について〉

質問事項	本校(昨年度)	本校	兵庫県	全国
朝食を毎日食べている。	89	96 ↑	94	95
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	77	79	75	77
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	91	91	88	89
将来の夢や目標を持っていない。	22	18 ↓	14	15
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしている。	73	84 ↑	82	81
普段、1日30分以上読書をしている。	30	45 ↑	40	41

早寝・早起き・朝ごはんの重要性
学力＝「早寝・早起き・朝ごはん」

引き続き活字の本を読む習慣を!!

将来の目標＝勉強をすることへの意欲につながるのでは!?

- 生活習慣は全体的に昨年度より大幅に改善が見られ、県や全国のポイントを上回っています。保護者の皆様ありがとうございました。引き続きよろしくご協力をお願いします。
- 読書習慣の向上は、うち読書や読書週間など校内での取り組みが成果を出しているのではないかと考えられます。

〈学習習慣について〉

質問事項	本校(昨年度)	本校	兵庫県	全国
学校の授業時間以外に、普段1日2時間以上勉強している。	23	25	36	29
学校の授業時間以外に、普段1日1～2時間勉強している。	16	24↑	31	37
学校の授業時間以外に、普段1日1時間未満勉強している。	47	46	30	31
新聞を読んでいる。	19	15	22	20
テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。	76	88↑	85	86
家で、自分で計画を立てて勉強している。	40	64↑	64	68
家で、学校の宿題をしている。	93	96	98	97
家で、学校の授業の予習・復習をしている。	37	46↑	55	63

授業以外の学習時間が少ない
→自主学習ノートの実施「家庭学習の手引き」

自主的な学習・予習・復習の重要性
→自主学習ノートの実施「家庭学習の手引き」

・授業時間以外の学習時間や授業の予習・復習への取り組みに大幅な改善が見られました。レッツスタディによる校内での学習時間の確保や自主学習ノートの実施が成果を出しているのではないかと考えられます。しかし、県・全国レベルで見るとまだまだ課題はあります。少しずつ向上していくよう、引き続き実施していきたいと思えます。

・計画性を持った学習にも大幅な改善が見られました。これも自主学習ノートにより、子ども達が自分の興味のあることや苦手分野を自ら選び、学習している成果だと考えられます。今後も続けていきたいと思えます。

〈教科について〉

質問事項	本校	兵庫県	全国
問題の解答時間は十分でしたか。(国語A)	67	74	80
(国語B)	70	72	75
(算数A)	75	75	80
(算数B)	64	66	66
(理科)	90	90	90
算数の勉強は好きですか?	73	61	64
算数の勉強は大切だと思いますか?	96	92	92
理科の勉強は好きですか?	90	82	84
理科の勉強は大切だと思いますか?	84	85	85
算数の問題が分からない時、あきらめずに色々な方法を考えますか?	75	78	78
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか?	81	78	78

スキルとしての読む力・内容をつかむ力が必要。→読書(活字)の重要性。

何のために勉強するのかを理解することが、主体的・積極的な学習へと変わってくる。

最後まであきらめない(挑戦する)気持ち
→これまで習った方法で解いてみる。図や絵を描いて解くことの必要性。

・算数や理科の学習に対する児童の前向きな気持ちが県・全国レベルを大幅に上回っています。これは大変素晴らしいことです。わかる楽しさを実感させたり、子ども達の知的好奇心をくすぐったりする日々の授業の工夫が成果を出しているのではないかと考えられます。この子ども達の学習に対する気持ちを大切にしながら、各教科のさらなる定着を図っていききたいと思えます。

6. 生活習慣・学習習慣について

尼崎市教育委員会による、学力調査と質問紙調査との関係についての分析及び今後の取り組みによると、生活習慣や学習習慣と学力との間には、大きな関わりがあるとされています。

保護者の皆様へのお願い

- ・「協働的な学習形態」、「家庭での学習状況」、「基本的な生活習慣」を改善していくことが、学力向上につながります。
- ・家庭における「早寝、早起き、朝ごはん」等の基本的な生活習慣の確立は、正答率と相関関係があります。
- ・テレビやゲーム、スマホ等(ネットやメール)の過度な使用は、学力に悪い影響を与えるため、適度な時間の使用が望まれます。家庭でルールを決め、守らせることが大切です。
- ・家庭で「宿題をする」はほぼ定着してきており、学力差は「自分で計画を立てて勉強する」か否かが正答率に大きく影響してきている傾向があります。家庭での学習においては、学校と家庭が協力して、宿題だけでなく予習・復習など自分で計画を立てて勉強する「自学の力」をつけることが重要です。是非昨年度から始まった「自主学習ノート」を「家庭学習の手引き」を参考にしながら進めて頂きたいと思えます。
- ・「学校での出来事について家庭で話すこと」と正答率には相関関係があり、親子でたくさん学校での出来事について会話をしている家庭ほどよい結果が得られています。お忙しいとは思いますが、お子さまと話す時間をできるだけ確保して頂きたいと思えます。
- ・「地域や社会とのかかわり」と正答率には相関関係があります。「地域行事への参加」や「地域の人との関わり」、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を持ち、地域のことを調べる」など、学校・家庭だけでなく、是非地域も活用しながらたくさんの人や場所から、たくさんのことを学んでほしいと思えます。

今後も、「分かる」の積み重ねを重視した授業づくりや「グループで調べる活動」や「友達と話し合う活動」など学習活動に積極的に参加する授業を多くしたり、「Let's study!!」などの授業時間外の学習を充実させたりしながら、学習効果を高めていきたいと思えます。また、「自主学習ノート」や「家庭学習の手引き」を活用し、予習・復習など自ら計画を立て、学習する習慣を身につけさせていきたいと思えます。どうぞ今後ともご理解とご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

